

第3回評議会におけるご意見の事業計画への反映

事業の種類	ご意見	事業計画への反映
〔戦略的保険者機能〕 インセンティブ制度の 着実な実施	インセンティブ制度の評価の明確化、進捗状況の明確化で各企業のモチベーションを上げることを実施してもらいたい。	<p>まずはインセンティブ制度についての認知度を高めることを目標に、令和3年度の保険料率はインセンティブの結果が大きく影響したことで引き下がる見込みであることを前面に広報を行っていきます。その上で、事業主や加入者の取り組みが評価され、保険料減算につながったことをしっかりと広報することで、モチベーションの向上につながるものと考えております。併せて健康経営の推進及び健診・特定保健指導の実施の際などに事業主様等への周知を継続して実施します。</p> <p>※事業計画（2）、2-4「インセンティブ制度の周知広報」</p>
〔戦略的保険者機能〕 特定健診実施率・事業者健診データ取得率等の向上	被扶養者の健康診断に対する印象が、国保に比べて健保の方が待遇が悪いという印象がある。例えば人間ドックの扱いなどで補助の有無や差がないのだろうか。昨今の健康志向が高まっている状況を考えると、人間ドックに対する希望者も今後は増えてくることが予想できることから、被扶養者に対する人間ドックの制度としての取り扱いやあり方、手続きなど、丁寧に分かり易く、被保険者や被扶養者が理解できる方法とその手段を含めて検討してもらいたい。	<p>被扶養者（家族）に対する特定健診は最小限の検査項目となっており、国保や健康保険組合と比べて待遇が悪いという印象になるのではないかと思います。支部で検査項目を増やすことはできないため、特定健診と自治体のがん検診を同時に受けられるよう市町村と連携した体制や、協会主催の集団健診では骨密度検査などのオプション検査項目を充実させるなど、被扶養者の受診環境を整えることで受診率の向上を図ります。</p> <p>※事業計画（2）、2-1（1）「特定健診実施率・事業者健診データ取得率向上」</p>
〔戦略的保険者機能〕 コラボヘルスの推進	中小企業団体中央会及び、中小事業団体中央会青年部への広報は可能と思われますので、ご相談ください。	<p>中小企業団体中央会様とは健康づくりに関する包括連携協定も締結させていただき、今後ともご協力をお願いいたします。</p>

事業の種類	ご意見	事業計画への反映
	<p>熊本県の入札等で評価項目に「ブライト企業」に認定された企業に対し加算の適応があるが、「ヘルスター健康宣言」や「健康経営優良法人」等の取得企業にも同じような対応ができれば健診受診率の向上に繋がってくるのではないだろうか。</p>	<p>※事業計画（２）、２－１（４）「コラボヘルスの推進」</p> <p>健康経営の普及と質の向上を目的として、ヘルスター健康宣言事業所、ヘルスター認定を受けた事業所及び、健康経営優良法人の認定を受けた事業所の健康経営への取り組みに対する具体的なインセンティブを検討します。</p> <p>※事業計画（２）、２－１（４）「コラボヘルスの推進」</p>
<p>〔戦略的保険者機能〕 医療等の質や効率性の向上</p>	<p>戦略的保険者機能関係Ⅱの「医療等の質や効率性の向上」の項目との関連で、効率性に関しては、重症化予防対策の推進あるいは、ジェネリックの使用促進といった事業計画が挙げられていますが、質の向上との関連で、支部として被保険者が受ける療養の給付の質の向上に資するような具体的な取組は何かあるのでしょうか？</p>	<p>加入者の立場として、質の高い医療を必要な時に、必要な場所で、必要な量を受けられる体制づくりが必要と考えます。支部においては、県の医療計画及び地域医療構想調整会議等の場で医療資源の有効活用及び病床数等について、本部においては、国の各審議会の場で医療保険制度改革、医療機能体制及び薬価改定等について、保険者としての要請と併せて加入者の立場で意見発信を行っています。今後も、データを活用した意見発信に努めます。</p> <p>※事業計画（２）、２－６「地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信」</p>
<p>〔全般〕 その他</p>	<p>全体を通して、ICT を柔軟に活用した取り組みや、考え方をしていくことが、あらゆる施策の効率化や利便性、改善に繋がると考えている。その辺りの計画や予算拡充には是非とも力を入れて取り組んで欲しい。</p>	<p>令和５年１月の次期システムの構想として自動審査の導入等の効率化を図る計画です。支部としてはICTを活用した遠隔面談により特定保健指導の利便性の向上を図ります。なお、会議等はオンライン形式で開催していますが、環境整備が十分とは言えない状況でありますので、本部と連携し環境整備を図ってまいります。</p>

事業の種類	ご意見	事業計画への反映
		<p>※事業計画（２）、２－１（２）「特定保健指導の実施率及び質の向上」</p>
	<p>評議会または企業向けの広報において専門用語の使用で分かりづらい（KPI、ナッジ、パイロット事業など）。万人に理解できるよう（解説を付けるなど）工夫が必要ではないか。</p>	<p>評議会においては、用語集の作成を検討します。また、事業所様等への広報においてはわかりやすい表現を徹底します。</p> <p>※事業計画（２）、２－２「広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解推進」</p>